

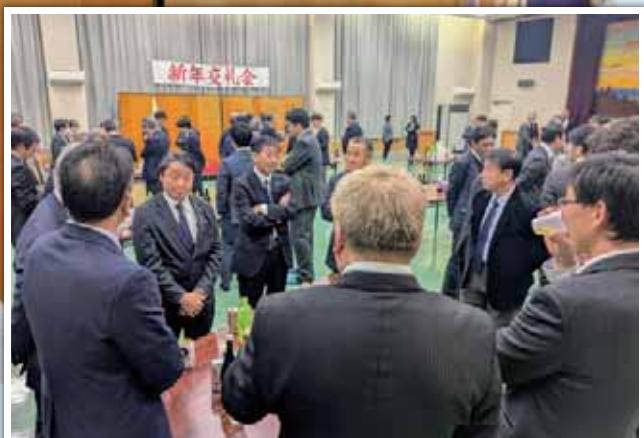
月形町

議会だより

No.

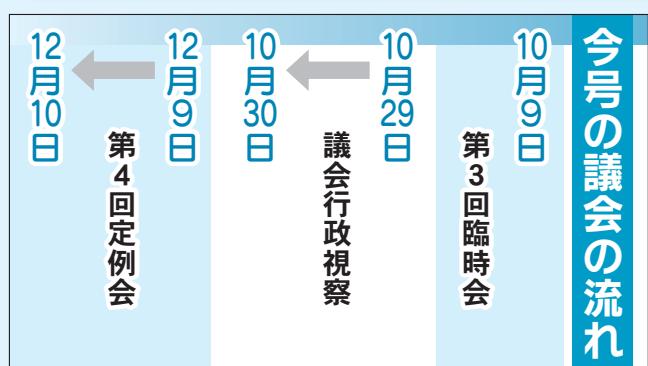
43

2026.2.5



新年交礼会にて、町民の皆さんとともに町の発展を願って
(1月16日)

令和7年第3回臨時会	2
令和7年第4回定例会	2
令和7年第4回定例会 一般質問	3
令和7年度議会行政視察	6
常任委員会報告	7
舞い降りて月形	8



令和7年 第3回臨時会

第3回臨時会は、10月9日に開催され、議案1件を審議し、原案どおり可決されました。

■ヒグマなどへの対応を強化

ヒグマ出没などへの対応として約75万9000円を増額。

今後に備えて、鳥獣被害実施隊員による巡回監視日数の増加や捕獲対応、わな設置用車両の借り上げなどを行うためと説明。

議員「実施隊員への費用弁償が足りているのか、隊員との合意はされているのか」

住民課長「条例に基づく算定であり、隊員の理解も得ている」

■図書館施設の安全確保

図書館玄関前の補修工事として154円を計上。

建物の老朽化によりモルタル剥離が発生したため、来館者の安全確保を最優先に、応急的な補修を行うとの説明。

議員「建物全体の老朽化や今後の施設のあり方をどうしていくのか」

町長「今回の修繕は応急対応であり、施設の今後については検討を進めている」

令和7年 第4回定例会

第4回定例会は、12月9日と10日の2日間にわたり開催されました。初日の9日には、4名の議員による6項目の一般質問が行われ、翌日の10日には、議案10件、承認1件、同意案1件、諮詢1件、意見案1件、会議案1件が審議され、すべて原案どおり可決・承認・同意されました。

令和7年度 一般会計補正予算

●専決処分の承認

■ヒグマ監視システムと対策用品の充実

鳥獣保護及び害虫駆除事業に補正額272万円6000円の増額（有害鳥獣監視システム使用料、有害鳥獣対策用機械賃借料、ヒグマの忌避備品の借上料、センサーカメラ、固定カメラ緊急用電気柵、有害鳥獣忌避備品など）

の実質目減り等が考えられる。町側の基本的な考えは。

（東出）

では、今後まちづくり全体の計画を立て、青写真を描いた上で建設していく。小中学校の整備についても、その中の一つとして進める。ただ来年度以降、緊急に修繕を進めいくものとして、キュービクル、屋上防水等がある。ほかに改修するかどうかは改修計画の実施設計の中で、専門業者に委託して判断する。

（副町長）

ていいものとして、キュービクル、屋上防水等がある。ほかに改修するかどうかは改修計画の実施設計の中で、専門業者に委託して判断する。

質疑応答

（一部抜粋）

問 小中学校の改修計画について

任用職員の報酬はマネージャーの残業代とのことだが、詳細は。

（金子）

振興公社に派遣している地域プロジェクトマネージャー2名分の時間外手当で、町職員と同様に総支給額の6%

算がかかるとしていた。一方で町長は、義務教育学校の建設基金も検討するとしているが、積立には数年の期間が必要と考える。今後、義務教育学校を建設するにしても人件費や工事費の高騰による基金

（答）当初見込んでいた、屋上に乗せるアルミの板は、非常に効果が疑わしいということで、その分を除いた執行残と合わせて減額補正になる。

（農林建設課長）

令和7年度 町立病院事業会計

問 看護師の給料が800万円少くなり、看護師の紹介手数料も約356万円減少

しているが、今回は、看護師紹介の人数は少なくなつたのか。

（松田）

看護師の採用については、ハローワーク等、紹介手数料のかからない方もいれば、紹介手数料の必要な方も

いる。看護師の不足の度合いによっては手数料を支払ってでも採用する時期もある。今年度は手数料が減額できる見込みである。（病院事務長）

（答）

（金子）



4人の議員からの

一般質問

町政を問いました！

議員
令和7年5月に、町側
からは財政的な理由に
義務教育学校の建設を
断念すると説明があつたが、
9月の定例会の一般質問にお
いて再度検討すると述べられ
た。しかし、この義務教育学
校の建設中止で、地域拠点施
設などさまざまなまちづくり
にも弊害が出てくると思う
が、今後どのような方向性を
考えているのか伺いたい。

松田 順一 議員

義務教育学校建設中止後の まちづくりの方向性は

《町長》バスターミナルや拠点施設に
についての代替案を模索する



町長

義務教育学校の建設

能強化は、町民の生活にとつて非常に重要であり、代替案

代に負担を先送りしないこ

と、寄附者の意向をていねいに反映すること、通常財源で

延期する決定をしたものであ

り、非常に難しい選択だった。

また、建設延期に伴い、バス

ターミナルと拠点化施設の整

備について、交通の利便性の

向上や地域の拠点としての機

能強化は、町民の生活にとつて非常に重要であり、代替案

も模索していきたい。バス路

線の維持についても、特に高

齢者や交通弱者の移動手段と

して必須であり、今後も岩見

沢市との連携を強化し、安定

的な運行と改善策について検

討を進める。

議員
義務教育学校の建設
については、財政的な理由に
延期する決定をしたものであ
り、非常に難しい選択だった。
また、建設延期に伴い、バス
ターミナルと拠点化施設の整
備について、交通の利便性の
向上や地域の拠点としての機

能強化は、町民の生活にとつて非常に重要であり、代替案

代に負担を先送りしないこ

と、寄附者の意向をていねい

に反映すること、通常財源で

延期する決定をしたものであ

り、非常に難しい選択だった。

また、建設延期に伴い、バス

ターミナルと拠点化施設の整

備について、交通の利便性の

向上や地域の拠点としての機

能強化は、町民の生活にとつて非常に重要であり、代替案

も模索していきたい。バス路

線の維持についても、特に高

齢者や交通弱者の移動手段と

して必須であり、今後も岩見

沢市との連携を強化し、安定

的な運行と改善策について検

討を進める。

議員
義務教育学校の建設

町長 現在の月形町の財政は、健全な状態にあると認識している。今後も財政の健全性を保ちながら、町民サービスを維持していく考え方である。ただし、人口減少が進む中で、国からの交付税へ依存度が高く、将来的には厳しくなる可能性がある。そのため、慎重な財政運営が必要であると考える。

議員 営業教育学校の建設由
止があり、月形町の財政はどのようになっているのか不安な声がある。財政の指標を見ても、町には一定の基
金（貯金）があり、将来の借金負担についても現時点では過度な状況ではないと思えるが、町長は、現在の財政状況をどのように捉えているのか。

町の財政状況の現状は 健全な状態と 認識している

一般質問

全な状態にあると認識した。だからこそ、優先順位を明確にして、基金やふるさと納税

などを活かし、必要な分野にはしっかりと投資することが重要である。

講員　ものはどれか。また今後、財政運営で最も課題になる点は何か。

町長　全て優先順位が高い。人口減少に伴う歳入の減少が大きな課題である。借金についても計画的に管理し、財政再建が必要な状況に陥らないよう、慎重に舵取りをしていく。

町の財政は、将来への課題はあるものの、現時点では健

農業の営農継続支援、民間賃貸住宅整備への支援などを検討している。財政とのバランスを見ながら、優先順位を判断して進めていく。

月形高校の入学者確保の取り組みは 耕 議員 我妻 町長

月形高校の入学者20名以上への確保に向け、10月の「月形高校地域説明会」以降、どのような取り組みを行つたのか。

10月下旬から11月上旬にかけて、岩見沢市や当別町などの中学校13校と、岩見沢市の登校支援室を訪問し、月形高校の校長とともに生徒募集活動を行つた。7月にも1回目の学校訪問を実施しており、月形高校の手厚い支援や、不登校だった生徒が元気に通学している事例などを伝え、魅力をアピールした。学校説明会後の訪問では、新たに受験を検討する生徒や保護者も現れた。道外からの地域みらい留学を検討する生徒

か。
応えと課題をどう見ているのか。
私学助成の影響など離
しい状況はあるが、各
中学校からは「月形高校に任せ
けば成長できる」という評価
をいただき、例年以上の手応
えを感じている。しかし、最
後まで予断を許さない状況で
あり、引き続き全力で取り組
んでいく。

月形高校の存続には、入学
者確保と同時に、魅力づくり
のスピードも重要だと考えて
いる。特に地域みらい留学の
寮や公設塾は、在校生や将来
の入学希望者にとつて大きな
力、高校の大きな魅力にもな
る。今後も町・教育委員会・
学校が連携し、早い段階から
準備を進めることが必要であ
る。

議員 在校生のために、先行して公設塾を進める考えはあるのか。

町長 審査や公設塾はいざれも多額の費用がかかるため、高校の今後が明確になるまでは、内部で慎重に検討を進めたいと考えている。

について、町の考えは。
町長 町はこれまで、通学費補助や進学支援、地域みらい留学への参加など支援を拡充してきた。寮の整備や公設塾については、次年度に20名以上の入学者が確保され、高校存続の見通しが立つた場合、新年度の早い段階で前向きに検討したい。

令和7年度 議会行政視察

今年度の行政視察は、地方自治体における先進的な取り組みを把握するとともに、それらを本町の政策立案や施策推進にどのように活かすことができるかを検討することを目的として実施し、福島県磐梯町および宮城県七ヶ宿町の2自治体を訪問しました。いずれの自治体も人口規模が小さく、財政や人材に制約がある中で、地域課題の解決と持続可能な地域社会の構築に向けた独自の工夫を重ねており、たいへん示唆に富む内容でした。

◆A-Iの活用で ドアツードアのオンラインデマンド交通

福島県磐梯町 (10月29日)

福島県磐梯町は、会津盆地北東部に位置する人口約3100人の町で、農業・製造業・観光業がバランスよく展開されています。自然資源を活かした観光振興にも力を入れており、町全体として一定の活力を維持している一方で、高齢化の進行や交通弱者の増加といった課題も抱えています。これまで町内交通として生活福祉バスや地域タクシーが運行されてきましたが、乗降所が22か所に限定されていたことや事前登録によって予約を受け付け、AI



が利用者の位置や目的地をもとに最適な運行ルートを自動算出するもので、従来の固定ルート型交通とは異なり、ドアツードア（戸口から戸口）での柔軟な移動を可能としています。複数の利用者を効率的に乗り合わせる仕組みとすることで、利便性と運行効率の両立が図られています。

運行時間は午前8時から午後5時まで、年末年始を除き原則年中無休となっています。予約は利用日の2週間前から当日まで受け付けており、電話予約については出発30分前まで対応可能とされています。運賃は町内をAゾー

◆地域おこし協力隊と 第3セクターの活用で

宮城県 七ヶ宿町 (10月30日)

次に訪問した宮城県七ヶ宿町は、宮城県南西部に位置する人口約1200人の町で、福島県および山形県と接する県境地域になります。豊かな自然環境を背景に、農業・林業を基幹産業としながら、七ヶ宿ダムなどの観光資源を活用した

とBゾーンに区分した設定となつており、町外利用者は別料金を設定するなど、受益と負担のバランスにも配慮されています。また、高齢者や障がい者への割引制度が整備されているほか、地域デジタル通貨の活用により、地域内経済の循環にも寄与しています。令和7年10月時点での登録者数は約1800人に達しており、利用者の大半は60歳以上ですが、近年では児童生徒の通学や部活動送迎と

の福祉バスとの役割分担を含め、将来的な運営の在り方にについて検討を進めています。

一方で、燃料費や人件費の高騰、AIシステムの維持管理費用などにより運行コストは増大しており、収支率は低水準にとどまっています。町では、利用者数のさらなる拡大や観光分野との連携、既存

の手不足への対応として、平成25年度から地域おこし協力隊制度を導入し、都市部からの人材を積極的に受け入れてきました。これまでに34名の隊員を採用し、令和7年度現在も複数名が活動しています。任期終了後も町内に定住する人材が一定数確保されており、協力隊制度が移住・定住施策として一定の成果を上げていることがうかがえま



す。隊員の活動内容は、林業支援や農業、工芸、観光施設の運営など多岐にわたり、地域課題への対応と新たな産業創出の両面で重要な役割を果たしています。

また、七ヶ宿町では商業機能の衰退という課題に対応するため、町出資による第3セクターを設立し、生活・交流・観光・防災の機能を一体的に担う拠点整備を進めてきました。中心施設は地域住民の生活を支える拠点として機能しており、季節変動を踏まえた人員配置によって通年雇用の確保にもつながっています。さらに、20年間の居住で土地

と建物が無償譲渡される住宅制度やお試し住宅、移住相談拠点の整備など、移住希望者が段階的に地域と関わることができる仕組みも整えられています。

今回の行政視察を通じて、磐梯町におけるAIを活用した交通施策と、七ヶ宿町における人材と組織を軸とした地域づくりは、限られた資源の中においても工夫しやすい地域課題の解決が可能であることを示していました。本町においても、制度や仕組みをそのまま導入するのではなく、地域の実情や住民ニーズをいねいに把握した上で、段階的かつ持続可能な施策として展開していくことが重要であると感じました。今後も引き続き、他自治体の先進事例を積極的に学び、町の将来に資する政策形成に取り組んでいきたいと考えています。

また、七ヶ宿町では商業機能の衰退という課題に対応するため、町出資による第3セクターを設立し、生活・交流・観光・防災の機能を一体的に担う拠点整備を進めてきました。中心施設は地域住民の生活を支える拠点として機能しており、季節変動を踏まえた人員配置によって通年雇用の確保にもつながっています。

今回の行政視察を通じて、磐梯町におけるAIを活用した交通施策と、七ヶ宿町における人材と組織を軸とした地域づくりは、限られた資源の中においても工夫しやすい地域課題の解決が可能であることを示していました。本町においても、制度や仕組みをそのまま導入するのではなく、地域の実情や住民ニーズをいねいに把握した上で、段階的かつ持続可能な施策として展開していくことが重要であると感じました。今後も引き続き、他自治体の先進事例を積極的に学び、町の将来に資する政策形成に取り組んでいきたいと考えています。

報告 まちづくり常任委員会 所管事務調査

令和7年10月14日

■ 保健福祉課

花の里こども園 安定運営の指定管理料とは

【概要】

- 指定管理者:雪の聖母園(令和10年度末まで)
- 人口減少の影響により、今後は利用児童数の減少が見込まれる

【児童数の状況】

区分	現在の児童数	定員
3・4・5歳児	40人	50人
0・1・2歳児	24人	30人
合 計	64人	80人

【取り組み】

- 移住定住事業の一環としての「保育園留学」を令和5年度から受入れ

子どもたちの交流による変化が期待されている

【課題】

- 人口減少による利用児童数の減少で指定管理料の不安定化
- 発達支援を要する児童の増加による保育士配置の調整
- 施設の経年劣化による修繕などの増加

■ 企画振興課

路線バス「岩見沢月形線」の新体制

目標乗車数は2万9千人

【運行内容】

- 運行便数:平日6往復、土日祝日3往復
- 一部便で中型バスを使用(通学生対応)
- 運賃:月形～岩見沢 800円

【運営状況】

- 町と岩見沢市の負担割合:月形町55.2%、岩見沢市44.8%

- 令和10年度の目標乗車数:2万9,000人
- 令和7年度4～9月の乗車数:1万3,389人

令和7年11月6日

■ 総務課

災害に備えた防災備蓄 防災備蓄倉庫に懸念

【備蓄品保管場所】

- 防災備蓄倉庫(消防署横)
- 旧札比内小学校
- 総合体育館

【主な備蓄品】

- 保存水、非常食、粉ミルク
- おむつ(子ども用・大人用)、生理用品
- 石油ストーブなど

【課題】

- 防災備蓄倉庫の建物の傾きや地盤に問題
水害時の備蓄品搬出に不安があり、早急な対策が必要

■ 総務課

IP告知廃止後の情報伝達 町公式LINEを中心に

【主な伝達手段】

- 町公式LINE
- 町ホームページ
- 広報誌

【今後の課題】

- 町公式LINEの登録者数増加
- 内容のさらなる充実

■ 企画振興課

道の駅の運営状況(8/20の追加調査)

冬期間の集客が課題

【収支状況】

- 令和7年度は、現在のところ黒字で推移

【新たな町民サービス】

- レストラン:商品券対応メニュー、冬季限定メニュー
- 温泉:学割、みかづき商品券利用サービスなど

【今後に向けて】

- 新規顧客の開拓
- リピーター確保による経営の安定化

第10回

「見上げた星空に 感激でした！」

つきがた友朋の丘 柳館 やなぎだて らやな



舞い降りて月形 住んで、見て、感じた月形は、

今回は、知的障がいのある方々へのサポートをする入所施設「つきがた友朋の丘」で、生活支援員として仕事をされている柳館 愉舞さんです。

Q 月形町に来られるまでのことを教えてください。

A 札幌市生まれで、専門学校を卒業するまで札幌を離れたことはありませ
ん。中学校時代はバドミ
ントンをやっていました。専門学校では保育を

学びました。

Q ジーのよつね経緯で月形町へ

A 専門学校のときに施設実習があつて、そのときまたま「札親会」の通所施設で実習しました。保育ではなかつたのですが、こういう仕事もいいかな
と思い、卒業とともに就職して、最初の配属先が「友朋の丘」でした。

Q 月形町の印象はどうでしたか。

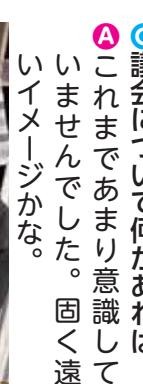
A 実は即ちが月形町の印象で、小やかにいっても遊べる存在に来たい」とがつた。

Q 月形町に住んで感じられることを教えてください。

A 食事や身の回りの介助から、歩行訓練などのリハビリ、自立に向けての課題に沿った訓練など、利用者の方々のサポートをしています。

Q 今、月形に住んで感じられることを教えてください。

「イヤハッジマーを終えた」
明るい笑顔で、分かりやすく取材に応じてくださったよしだした。柳館さん。保育分野からの障がいのある方々の施設へと進むれば、舞い降りた月形でこれまで多くの経験を積まれてきました。これが伝わってきました。これからも利用者の皆さんを支える存在としての活躍を期待しています。



た。住んだ当初の印象は「ねぬが少ないなあ」、札幌と比べると当然ですね。赴任当初は免許もなく、車などでの移動でしたが、札幌からも近く、免許取得後は車で遊びに出かけています。

あと、月形に来てからまだ自転車で通つていたときに、仕事の帰り道で、ふと見上げた空にしづかの星が、本当にきれいだったことを覚えてこます。

Q 好きないとはなんですか。
A 友達と会つたり、カラオケにいく」と、プラバンを使った小物についてですね。

Q 施設でせりんな仕事をされることはありますか。
A これまでもあり意識していなかった。固く遠いイメージかな。

れでござります。
A 開業公園での花火は、身近で見ゆるじがでやて感動です。仲間と一緒に、一人でも見に行きます。キャンプ場も有名だし、道の駅でもあります。

りつやを出せたら素敵だと感じます。
イブントにせ出かけます
が、友朋祭など町民の方々に施設に来ていただける機会が減つてしまつたのが残念です。それに最近夏が異常に暑いので、自分の部屋にもクーラーが欲しいです。

Q 議会にこつて向かあれば、これまでもあり意識していなかった。固く遠いイメージかな。

実際に見ること、実際に聞くことは、私たち議員にとって大切なことです。今すぐ役に立つことや将来の役に立つことのために、「視察」は実際に訪れたことが大きな意味を持つと信じています。
(妻)

〒061-0592 北海道樺戸郡月形町1219番地
TEL (0126) 53-2321 FAX (0126) 53-4373
E-mail: gikai@town.tsukigata.hokkaido.jp

広報特別委員会

委員長	松	順	一	耕	二	伸
副委員長	田	妻	昭	若	井	口
委員	柳	若	井	若	井	口
委員	若	柳	若	柳	若	柳